



第 5 号 (2021 年 3 月 15 日 発行)

<第 5 号 TOPICS>

1. 看護専門外来の紹介
2. 診療科のご紹介 ※別紙をご覧ください。
小児科 小児外科
3. 第 2 回東京女子医科大学病院地域連携 Web セミナー開催 (実施報告)
4. 当院の新型コロナウイルス感染予防対策について
5. 外来診療予約方法 (医療機関専用) について
6. 大学図書館の利用制限について
7. お知らせ



1. 看護専門外来の紹介

総合外来センター1階・入退院支援室
看護師長 藤井淳子

今号では、前回お伝えした当院の総合外来センターで力を入れている「看護専門外来」の紹介をします。当院では下記の看護専門外来を開設し、専門的な知識をもつ看護師が各診療科の医師と協働し、生活に視点をおいた QOL の向上や、疾病によるセルフケアの獲得などの指導やケアを行っています。

【看護専門外来の対象となる方】

地域の先生方が看護専門外来の対象であると判断された際は、関連診療科の外来担当医にご相談を頂き、受診予約について説明させていただきます

看護専門外来		関連診療科
皮膚・排泄ケア		消化器・一般外科、泌尿器科
排尿ケア		泌尿器科
がん看護		がん治療を担う診療科
小児看護		小児科、小児外科、腎臓小児科 脳外科、循環器小児科、リウマチ小児科
H I V看護		血液内科
膠原病・関節リウマチ看護		リウマチ内科、リウマチ整形 リウマチ小児科
糖尿病看護	予防フットケア	糖尿病内科
	糖尿病透析予防	
	インスリン相談、導入支援 糖尿病療養相談	
心不全・VAD (補助人工心臓) 看護		循環器内科、心臓血管外科、循環器小児科
遺伝看護		ゲノム診療科

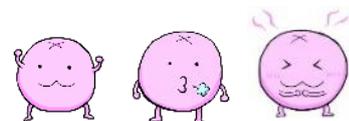
※助産師外来

診療科：産科

皮膚・排泄ケア看護外来

【看護外来の紹介】

担当者：皮膚・排泄ケア認定看護師
指導内容：



- ・創傷ケア：創傷環境を整え創傷治癒を促進させるケアの提供、健全な皮膚を維持するためのスキンケアの支援
- ・ストーマケア：ストーマの管理、ストーマ装具の選択、日常生活のアドバイス、精神的なサポート
- ・失禁ケア：便・尿失禁、特に病気や手術後に発生する失禁に対する排泄管理、失禁による皮膚トラブルに関するケア

【看護外来実績】

- ・2020年度皮膚・排泄ケア看護外来介入件数：325件

排尿ケア看護外来

【看護外来の紹介】

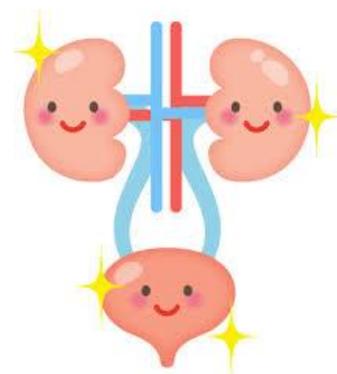
担当者：皮膚・排泄ケア認定看護師、排尿機能訓練士

指導内容：

- ・排尿障害（尿もれ、頻尿）に関する情報提供や相談対応
- ・自己導尿の新規指導、導尿方法・カテーテルに関する相談対応
- ・排泄用品（オムツやパッド）の選択への相談対応
- ・腎ろう・膀胱ろう・尿道留置カテーテルの管理に関する相談対応
- ・生活習慣に関するセルフケアへの支援
- ・家族やパートナーの支援

【看護外来実績】

- ・自己導尿新規導入指導：週4件
- ・自己導尿フォローアップ：週2～3件
- ・排尿困難生活指導：週2件程度
- ・腎ろう、膀胱ろう、尿道留置カテーテル挿入中の患者の生活指導：週1～2件程度



がん看護外来

【看護外来の紹介】

担当者：がん看護専門看護師、がん薬物療法看護認定看護師（以下、CN）

がん放射線療法看護 CN、乳がん看護 CN、緩和ケア CN、がん性疼痛看護 CN

指導内容：

- ・がんによる症状や治療の副作用等のつらさに関する相談
- ・治療の選択や療養への意思決定支援、心理支援
- ・患者さん、ご家族へのセルフマネジメントへの支援



小児看護外来

【看護外来の紹介】

担当者：小児看護専門看護師、小児看護経験看護師

看護外来内容：

- ・在宅での医療的ケアを行っている子どもと家族への療養指導

- ・育児不安の強いご家族への支援
- ・病気をもつ子どものきょうだい児への支援
- ・入院前の面談支援
- ・病気をもつ成人患者さんのお子さんへのかかわり方の相談
- ・慢性疾患をもつ子どもの成人移行を見据えた成人移行期支援



【看護外来実績】

在宅療養指導は、小児科の患者さんだけでも毎月 3~7 件対応しています。入院前の面談による支援は、診療科を問わず毎日対応しています。

HIV 看護外来

【看護外来の紹介】

担当者：HIV/AIDS 看護エキスパートナース（日本エイズ学会認定 HIV 感染症看護師）

指導内容：

- ・疾患や治療、セクシュアルヘルスに関する情報提供や相談対応
- ・セルフマネジメント支援
- ・家族やパートナーの支援



【看護外来実績】

- ・2020 年度 HIV 看護外来患者対応件数 668 件

膠原病・関節リウマチ看護外来

【看護外来の紹介】

担当者：在宅自己注射指導担当看護師

指導内容：

- ・生物学的製剤自己注射指導
- ・在宅自己注射への移行に関する相談・指導
- ・セルフケア支援
- ・小児膠原病や若年性特発性関節炎患者に対しての生活、内服指導・相談



【看護外来実績】

- ・2020 年度在宅自己注射指導件数 151 件

糖尿病看護外来

【看護外来の紹介】

担当者：糖尿病看護認定看護師

指導内容：

- ・予防的フットケア：重症化予防の視点よりネイルケア、胼胝・鶏眼のケア、皮膚のケア
- ・糖尿病透析予防：糖尿病の 3 大合併症の 1 つである腎症のセルフケア支援
- ・インスリンポンプ相談・導入支援：インスリンポンプ療法に関する相談、外来導入支援
- ・糖尿病療養相談：生活習慣や血糖コントロール方法などのセルフケア相談・支援



【看護外来実績】

- ・2020年度糖尿病看護外来患者対応件数 732件

心不全・VAD 看護外来

【看護外来の紹介】

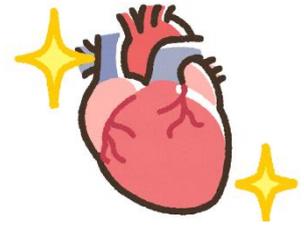
担当者：重症集中治療看護専門看護師・VADコーディネーター

指導内容：

- ・重症心不全患者のケア、指導
- ・末期心不全患者の治療の選択肢についての説明（VAD装着前）
- ・VAD患者の在宅療養支援

【看護外来実績】

現在までに50症例以上の患者さんご家族が通院され、心臓移植待機期間までの間、外来でフォローされています。



遺伝看護外来

【看護外来の紹介】

担当者：臨床遺伝カウンセラー（看護師）

指導内容：

- ・遺伝性疾患、染色体異常症、がん遺伝子医療、循環器疾患等
その他多岐に渡る疾患に関する遺伝カウンセリング
- ・ゲノム診療科の受診や遺伝学的検査に関する相談



助産師外来

【助産師外来の紹介】

担当者：助産師

指導内容：

- ・妊婦健康診査（正常に経過している妊婦）
- ・健康な妊娠生活を送るためのアドバイス
- ・分娩準備のための保健指導



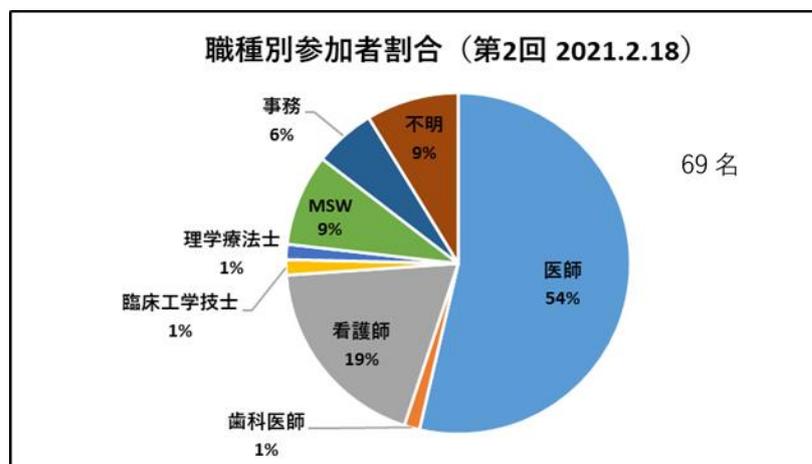
2. 診療科のご紹介（小児科・小児外科）は別紙をご参照ください。

3. 第2回東京女子医科大学病院地域連携 Web セミナーを開催しました。

令和3年2月18日（木）、昨年12月に続き、Webによる地域連携セミナーを開催いたしました。

田邊一成病院長の挨拶に続いて、今回は、新型コロナウイルス感染対策における当院の取り組みと実際について、「当院における COVID-19 対応状況について」のテーマで、総合内科・総合診療科の川名正敏教授から、また周産期医療に関して、「東京女子医科大学病院における安全・安心な周産期管理を目指して」のテーマで、産婦人科の水主川純准教授からそれぞれ講演いただきました。

Webでの開催ということで、参加いただきました先生方には、ご不便をおかけした点もあったかと思いますが、今後も Web での地域連携セミナーを開催させていただきたいと考えております。大変ご多忙の折とは存じますが、多くの先生方、医療関係者の皆様にご参加いただけるよう、準備してまいりたいと思っております。次回の開催予定につきましては、追ってご案内させていただきますので、何卒宜しく願いいたします。



4. 当院の新型コロナウイルス感染予防対策について

新型コロナウイルス感染症が全国的に流行している中、当院では感染症対策専門チームが発足し、入院前、手術実施前の患者さんに必ず PCR 検査を受けていただくなど、患者さんが安心して治療に専念出来る体制の構築に病院の総力をあげて取り組んでいます。

入院、手術ともに制限すること無く受け入れておりますので、安心してご紹介いただければ幸いです。

なお、入院中の患者さんとのご面会は、感染予防対策上、原則禁止とさせていただいております。現段階ではタブレットなどによるリモート面会につきましても実施しておりません。ご不安、ご不便をおかけいたしますが、何卒ご理解いただきたくよろしくお願い申し上げます。

※退院に際し、医療的ケアや介護療養上の各関係機関やサービス事業者などとの退院前カンファレンス等の実施につきましては、「地域連携室だより（第2号）」でもご紹介させていただきましたように、ZOOM による Web カンファレンスも積極的に対応させていただいております。患者さん、ご家族が安心して退院できますよう、ご調整させていただきますので、ご理解・ご協力のほど何卒よろしくお願い申し上げます。

5. 患者さんのご紹介・診療予約について（医療機関専用）

医療機関の先生方からのご紹介・診療予約につきましては、診療希望日に時間的に余裕がある場合は、FAX または予約フォーム（Web 予約）をご活用いただければ幸いです。お急ぎでの予約をご希望の場合は、直通電話または各診療科ダイヤルイン（下記 URL 参照）へご連絡ください。また、専門外来など各診療科で連絡窓口を設置している場合もあり、各診療科のホームページ（下記 URL 参照）もあわせてご参照いただければ幸いです。なお、患者さん・ご家族が直接予約をされる場合は、患者さん専用の予約番号へおかけいただけるようご案内いただければ幸いです。大変お手数をおかけしまして誠に申し訳ありませんが、何卒宜しく願いいたします。

診療予約システム

患者さんから
予約する場合



①予約専用電話
TEL：03-5269-7600



自動音声案内（アンサーングマシーン）
1～9 を選択。該当診療科各医局が対応。

②Web予約（患者さん専用）
<https://www.twmu.ac.jp/twmu-form/reserve-form/>



外来医事課が対応

医療機関から
予約する場合



①FAX予約：03-5269-7387

②地域連携室 TEL：03-5269-7160



地域連携室事務員が対応

③Web予約（医療機関専用）
<https://www.twmu.ac.jp/twmu-form/reserve-form-sw/>

④診療科ダイヤルイン（医療機関専用）
<http://www.twmu.ac.jp/info-twmu/documents/20200704-daiyaruin.pdf>



各診療科当番医が対応

患者さん専用予約システムの変更についてはこちらもご参照ください。↓

<http://www.twmu.ac.jp/info-twmu/documents/yoyaku-20200808.pdf>

診療科ダイヤルイン一覧はこちら ↓

<http://www.twmu.ac.jp/info-twmu/documents/20200704-daiyaruin.pdf>

Web での予約申し込みはこちらから ↓

<https://www.twmu.ac.jp/twmu-form/reserve-form-sw/>

各診療科のホームページはこちら ↓ ※部門 HP をクリック

<http://www.twmu.ac.jp/info-twmu/shinryo.html>

6. 大学図書館の利用制限について

現在、新型コロナウイルス感染予防のため、引き続き外部の方の利用を制限させていただいており、連携登録医の先生方には、ご利用いただけない状況になっております。誠に恐れ入りますが、利用制限が解除になり次第、改めてご案内させていただきますので、ご理解・ご協力のほど何卒宜しく願いいたします。

大学図書館の詳細はこちら → <http://www.twmu.ac.jp/library/>

ご案内図



○地下鉄

都営大江戸線 ②若松河田駅下車(若松口より徒歩約5分)

③牛込柳町駅下車(西口より徒歩約5分)

都営新宿線

④曙橋駅下車(A2出口より徒歩約8分)

○都営バス

宿74系統 ①新宿駅西口→東京女子医大前

宿75系統 ①新宿駅西口→東京女子医大前←③四谷駅前←三宅坂

早81系統 早大正門→⑤馬場下町(早稲田駅)→東京女子医大前←⑥四谷三丁目←

千駄ヶ谷駅前←原宿前←渋谷駅東口

高71系統 ⑦高田馬場駅前→東京女子医大前←⑨市ヶ谷駅前←九段下

小児科

1. 科の紹介・診療実績

小児科専門医制度で、専門医が担当すべき分野は 10 分野に分かれています。当診療科は、新生児疾患、循環器疾患、腎疾患を除く 7 分野を幅広くカバーさせていただいております。新生児科で生まれた小さな赤ちゃんは、原則として当科に移行してから退院いただきますし、心疾患の患者さんは循環器小児科に、腎・泌尿器系疾患の患者さんは腎臓小児科へというように、診療科間の連携もスムーズに行っています。ほかに、遺伝子医療センターゲノム診療科、リウマチ内科小児領域、小児外科との連携もさかに行われています。その中には、容易に内科に移行することができない患者さんもうらっしゃるので、15 歳以上の方も診療させていただいています。私たちは、「子どもの総合診療医」をモットーにしていますが、当科に特化した専門医（サブスペシャリティー）領域として、小児神経専門医（日本小児神経学会）があげられ、多くの領域専門医を輩出しているのも特徴といえましょう。私たちは、大学に属する診療科として、診療、教育、研究にバランスよく力を入れることが、よりよい医療を患者さんに提供するための最善の道だと、思っております。当科では、年間平均外来人数 18,000 人、入院人数約 850 人を拝見しており、近隣からご紹介頂く、喘息、感染症、川崎病なども多く入院対応しています。また、専門領域も広く、下記のような疾患を対象として治療、精査入院を行っています。



診療部長 永田 智

2. ご紹介いただきたい疾患・症例、予約方法など

- ①アレルギー：食物アレルギー、アトピー性皮膚炎、喘息などを拝見しており、アレルギー相談、食物負荷試験、抗 IgE 抗体治療なども積極的に行っています。
- ②神経・遺伝：早産児、染色体疾患等合併症治療や発達支援、脳性麻痺のボトックス療法、発達障害の診断・治療、神経難病の診断・治療を行い、その他、発達遅滞発育不全のご相談に載ります。
- ③てんかん：熱性けいれん、（難治性）てんかんや、発作性の症状を繰り返す例の診断、治療のご相談に載ります。画像検査だけでなく、入院長時間ビデオ脳波検査等に対応致します。
- ④筋疾患：運動発達遅滞、フロッピーインファント、高 CK 血症の精査や、筋ジストロフィー、筋炎、重症筋無力症、ポンペ病、脊髄性筋萎縮症などの希少疾病に対する免疫療法、アンチセンス治療、酵素補充療法などの治療も行っています。
- ⑤リウマチ：若年性特発性関節炎、全身性エリテマトーデス、若年性皮膚筋炎、シェーグレン症候群、ベーチェット病、自己炎症性疾患(周期性発熱症候群)、不明熱など、小児期発症のリウマチ性疾患の診断と治療を行います。
- ⑥消化器：栄養障害、消化管アレルギー、難治性便秘症、炎症性腸疾患、胃十二指腸潰瘍、胃食道逆流症、蛋白漏出性胃腸症などに対し、消化管内視鏡検査、消化管造影検査などの検査・治療を行っております。
- ⑦内分泌・代謝：低身長、糖尿病、低血糖症、肥満・メタボリック症候群、脂質異常、甲状腺機能低下症、思春期早発症・遅発症、くる病、尿崩症、夜尿症などを拝見しています。



医局員の PBLS の訓練風景

ご予約は、地域連携室へのお電話・FAX、または患者様から直接、病院 HP 上にある初診予約番号からお願い致します。診療担当表にある専門にあわせて初診日を選んで頂くスムーズに対応可能です。専門が不明な場合は、予約の際にご相談ください。緊急の場合は、当日の担当医が対応致しますので HP 上のダイヤルインから遠慮なくご連絡ください。

3. 小児科からのお知らせ

これまでは治療法がなかった小児の難病も治療開発が急速に進み、早期発見・早期治療による予後改善も期待できるようになりつつあります。当科では積極的に新しい検査方法、治療法も導入しておりますので、どうぞお気軽にお問合せください。

※診療担当表 URL <http://www.twmu.ac.jp/info-twmu/shinryo.html>

※小児科のホームページはこちら → URL : <http://www.twmu.ac.jp/PED/>

小児外科

1. 科の紹介・診療実績

当科では、小児消化器疾患、小児泌尿生殖器疾患、小児呼吸器疾患、小児体表疾患、新生児外科疾患を中心に、幅広く小児外科疾患に対応しております。また、鼠径ヘルニア、停留精巣、遊走精巣、臍ヘルニア、包茎、急性虫垂炎などの小児の日常よく診られる外科的疾患も豊富に経験しております。対象年齢は新生児から中学生までを基本としますが、小児外科疾患術後のキャリアオーバー患者の診療も行っております。

通常の外来診療は小児外科指導医もしくは専門医が担当し、夜間・救急症例に関しては、オンコール体制をとり24時間・365日対応可能であります。また当院は小児科、循環器小児科、腎臓小児科、新生児科とともに小児総合医療センターが設立されており、脳外科、麻酔科、形成外科、整形外科、皮膚科、耳鼻科、歯科口腔外科、放射線科などの小児外科系関連各科との連携も深めながら、小児医療を総合的にを行っています。

当科の特徴として、先天性食道閉鎖症、先天性横隔膜ヘルニア、胆道閉鎖症、先天性胆道拡張症、ヒルシュブルグ病、鎖肛、腎盂尿管移行部狭窄症（先天性水腎症）などの小児外科の代表的な新生児・乳児疾患に対して内視鏡手術を標準術式として手術を施行しており、常に患児に対して低侵襲な医療をモットーに日々診療を行っております。

診療実績（2020年） 総手術数：249件、新生児手術数：10件、内視鏡手術数：87件



診療部長 世川 修



2. ご紹介いただきたい疾患・症例など

急性腹痛・急性虫垂炎・精巣捻転症などの小児外科救急疾患については、麻酔科の協力の下、常に手術可能でありますので緊急でのご相談は当科医師直通電話：03-6709-9353 までご連絡ください。また、当科は小児外科疾患のみでなく小児泌尿生殖器疾患についても診療を行っておりますので、水腎症・膀胱尿管逆流症・尿道下裂などの疾患についても是非とも当科へご紹介ください。

3. ご予約方法

当科初診予約は【月・水・木・土】に受け付けております。初診予約方法の詳細については病院ホームページ

<http://www.twmu.ac.jp/info-twmu/index.html> をご参照ください。

※診療担当表 URL <http://www.twmu.ac.jp/info-twmu/shinryo.html>

4. 最後に

当科はご紹介いただきます紹介元の先生方のご診療およびご紹介の下に成り立っている診療科でございます。今後ともご指導・ご鞭撻の程、何卒宜しくお願い致します。

※小児外科のホームページはこちら → URL : <http://www.twmu.ac.jp/pediatric-surgery/>